

NEWS

産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー [現業管理コース] 報告

(公社)全国産業廃棄物連合会主催の平成28年度産業廃棄物処理従事者能力アップセミナー [現業管理コース]が11月29日(火)・30日(水)の2日間、名古屋市中小企業振興会館・吹上ホール(名古屋市千種区)において、午前9時45分より開催され、参加者は当協会員を含め17名が受講されました。

講義は(公社)全国産業廃棄物連合会産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー講師 服部道紀氏が、操業管理・設備等保全基礎・原価管理基礎・安全衛生管理概論について、現場の管理者が必要とする基礎知識と実



講師の(公社)全産連 服部氏

践例を上げながら解説をしました。ワークショップ全般は、(公社)全国産業廃棄物連合会産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー講師 澤田譽啓氏



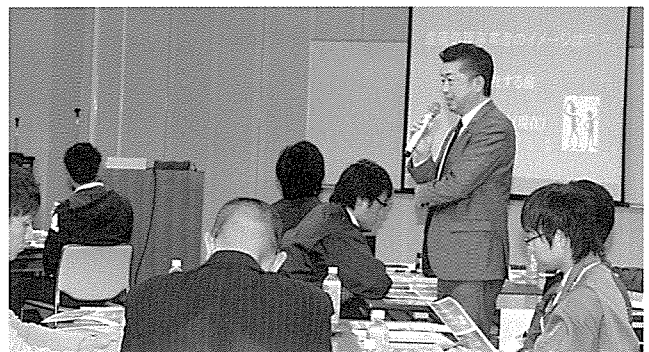
講師の(公社)全産連 澤田氏

が担当し、自社事業プロフィールによる自己紹介、自社施設プロフィールの特徴出し、不明点の明確化、事例による安全風土づくりの研究、個人研究・自社施設における安全風土づくりのポイントの明確化、をテーマに

グループワークの活性化を図りました。また「業界をとりまく最新動向」では(公社)全国産業廃棄物連合会事業部長兼調査部長 香川智紀氏から、法改正についていち早く情報を得ることは、会社の中で重要な対策を練ることができ、それは会社の信頼性向上、皆様の評価向上にもつながるとのことでした。内容についてはHPの連合会の活動に公開されているので、参考にしてくださいとのことでした。

(一社)愛知県産業廃棄物協会理事、尾張北支部長の中野兼司氏/(株)東伸サービス代表取締役社長からは『産業廃棄物処理事業の経営戦略と社員への期待』これからの産廃処理事業者としての必

要なこと」と題して講演がありました。中野氏は最初に産廃処理事業者のイメージを入社前と入社後について尋ね、ほとんどの受講者は、入社前のイメージは悪く、入社後はそうでも無いとの回答でした。また旧産廃処理事業者は、不適正処理や不法投棄、成り行き任せの経営ではないか?と疑問を投げかけ「カッコ悪い」と評価し、その結果罰則の強化となり“悪貨は良貨を駆逐する”とことわざで比喻しました。平成19年二代目として社長に就任された中野氏に、これまでの旧産廃処理事業者の行いが、世間からの強い風となって中野氏の前に立ちふさがったことを機に、ゴミ屋からの脱却!と一念発起されました。まず自社の会社理念三則を掲げ、社訓として絆、力、宝、心、を宣言し、企業としての方向性を内外に示されました。また人材から人財へ、と社員を財産として慈しむことを実践し、中野氏は毎朝社員全員と朝の挨拶と握手を実行しています。以前は男性社員だけでしたが、今は女性社員の要望もあり全員と握手をして、信頼関係を高めておりますが、社員の体調の変化や心の動きについても感じ取られているようです。最後にこれからの産廃処理事業者として必要なことを5か条としてまとめ、産廃処理業界全体で、社会的評価向上を目指す!!と明言されました。これは、逆“悪貨は良貨を駆逐する”の、良い業者が増え、悪い業者を無くしていく!を目指したい、と締めくくりました。



講義をする中野氏